

30日30詩

空見タイガ



限界 5



押しとどめる猫 6



サプリメント 8

一日一冊 9

赤の断罪 10

可動域 12



特急電車に挟まれる 13

芸達者 14



頭痛と友だち 15

つつがない 16

靴下 17

疲労の証明 18

同舟 19

生を活かす 20

粉吹雪 21

長いことはつらい 22



だらだらしている時間 23



壁 24

オートロック 31



別名義 25

先着プレゼント 32

やさいやさしい 34

往路 26



中の空気 35



終わらない漫画 27

ペットボトルのぬけがら 36

調子が狂う 28

晴れていると 29

アクリルスタンド 30



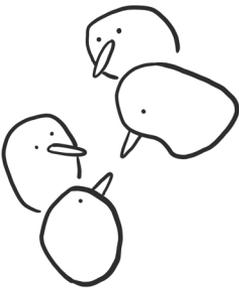
毎日一生 38



2022年3月18日から4月16日まで

1日1詩のペースでこつこつと書いた

書き下ろ詩をはるばる集めたものです





01 限界

透明のコップに注いだ牛乳を
最後まで飲めた気がしないのは
透明のコップに注いだ水を
最後まで飲めた気になっていた
からだろう

02 押しとどめる猫

どう思うかは人それぞれ
何が悪夢かは人それぞれ

ある日わたしは猫が家に侵入しようとする夢を見た
わたしは必死に猫を外に押しとどめようとしていた

何が悪夢かは人それぞれ
どう思うかは人それぞれ

それでもおまえは
わたしをねずみに
するだろう

